鶴岡市社会福祉協議会

おだがいさま

odagaisama

第59号
平成27年
8月1日発行

成長と共にステップUP

～未来に咲かせるふくしの花～

●**小学生は**…市立朝暘第六小学校では、毎年福祉について理解を深める授業が行われています。7/2には３年生の生徒136名を対象に、視覚に障がいのあるゲストティーチャーの三浦友貴さんと高橋祐輔さんを迎え、障がいのある方々への理解を深める授業が行われました。児童たちは、目を使わずに点字の本を読んだりピアノを弾いたりできることに驚き「点字って？指で読むって“すごい”」「耳で聞いて覚えるんだ」と目を丸くして感動していました。

●**中学生は**…市立第五中学校でも、高齢者施設での「福祉体験学習」が毎年行われており、5月には3年生の生徒117名を対象に、この体験学習に向けての事前学習が行われ、ゲストティーチャーの武久明雄さんや福祉学習サポーターの方々の協力を得ながら、「福祉の心」や「認知症のこと」などへの理解を深めています。

●**高校生は**…県立鶴岡工業高等学校のボランティア部では、中央児童館のひろっぴあ夏祭りの開催(8/4)に向けて企画から参加し、7/8の事前打ち合わせでは、楽しい催し物の企画から子どもたちの安全への配慮まで真剣に話し合われました。

このように、今鶴岡市の子どもたちは、身近な福祉について学びを深めながら、未来に咲かせる福祉の花を育てています。

シリーズおじゃします　第5回

朝日地域 ～東部自治振興会～

「地域が明るく楽しく元気に」を目標に事業を展開

市内の地域福祉を紹介するシリーズ。第５回目は朝日地域朝日東部地区自治振興会の渡部政治事務局長にお話を伺いました。

朝日地域は「月山」「湯殿山」、そして雄峰「朝日連峰」に囲まれ、庄内と内陸（山形）を結ぶ出羽の古道〝六十里超街道〟は、トレッキングコースとして多くの人に親しまれています。また、四季の移ろいを目で肌で舌で堪能できることも、大自然に恵まれた朝日地域ならではの醍醐味です。人口は年々減少し、現在は四，四八八人、少子高齢化が深刻な状況です。

（平成二十七年三月末現在）

東部地区は中山間地に位置し、五つの集落が点在しています。人口三九五名、高齢化率三十七・七六％

「子どもから高齢者まで集える交流の場の創設」で活気あふれる地域づくり

朝日東部地区自治振興会
渡部　政治
事務局長より

平成二十七年四月より、地区公民館が朝日東部コミュニティセンターに移行し、生涯学習、福祉、防災と幅広い事業が展開されることとなり、これまでの事業の見直しや新たな事業の企画などに現在取り組んでいます。

◆朝日東部地区について

この東部地区は、比較的小さな集落（田麦俣・関谷・上村・中村・下村）で構成されますが、住民同士の関係は非常に良く、協調性に富んでいます。就学前の子どもの数は減少していますが、他の地区より三世代同居率が高いのが特徴です。

他方、豪雪地域に位置しており、除雪作業や交通手段の確保、屋根の雪下ろしなどの課題を抱えています。これらの課題に対し、住民同士が気兼ねなく助け合えるよう、多くの世代の方々とコミュニケーションを図り、支え合いの仕組み作りや、より良い事業を進めていきたいと考えています。

◆東部地区の課題とこれからの事業の展望について

この地区で行われる最も大きな事業に、大網同窓会（小中学校の卒業生が組織）との共催で行う「大網地区芸能文化祭り」があります。今年度は大網小学校の閉校の年に当たるため、「一三五年の思い出を語る会」を兼ね、この地区の一大イベントとして、大いに盛り上げようと企画しているところです。他方、住民にとってなじみの深い小学校が閉校となるため「大きな光を失う」気持ちになる住民も多いと思われます。そのような気持ちに寄り添いながら、子どもから高齢者まで集える交流の場や各種事業を展開していかなければと考えています。

今年度、世代間交流事業として高齢者の方々の協力を得ながら、小学校の全児童を対象とした「月山登山」を企画しています。この他にも、この地区の活動としてなじみの深い「田植え」や「畑作業」なども、高齢者の協力を得ながら交流事業として企画しており、今後も継続していきたいと考えています。

◆「地域が明るく楽しく元気」に暮らすために

先の課題意識に基づき、今年度より東部地区に「地域づくり部」という部会を設けました。この部会を中心に、地区の住民が主体的に取り組めることを、関係機関と連携し、各種事業を進めていければと考えています。「地域が明るく楽しく元気」を目標に様々な事業を展開し、一歩一歩前に進んでいきたいと思っています。

●福祉センターより
～協働と今後の事業推進～

昨年度、朝日福祉センターでは、地域包括支援センターとの共催で今後の「地域づくり」を住民とどのように進めていけば良いか、自助・互助・共助・公助による住民主体の地域づくりにお手伝いできるよう、アンケート調査やグループワークを実施しています。今年度も引き続き、各自治会長・民生児童委員・保健委員などにご参加いただき、課題の分析と解決方法の検討を目的に座談会を開催していく予定です。関係機関から協力と手助けを頂きながら、地区の住民の課題意識を共有し、「地域が明るく楽しく元気」に暮らすために、住民主体の地域づくりを協働推進していきます。

平成26年度 事業報告と決算報告

少子化高齢化の一層の進展や人口減少並びに過疎化、小家族化などにより地域社会や家庭の様相は大きく変容し、地域連帯感の希薄化による住民相互の支え合いの機能低下、ひとり暮らし高齢者や認知症高齢者の増加、社会的孤立、経済的な困窮、低所得の問題など、様々な福祉課題が複雑化、多様化してきています。こうした福祉課題を解決するため、地域福祉活動計画「おだがいさまのまちづくり計画 2010」の「おだがいさまネット活動」を中核とした住民主体による地域の支え合い活動を、行政、関係機関・団体等と連動して取り組みました。

地域福祉事業　「おだがいさまのまちづくり計画 2010」(地域福祉活動計画) の推進

「おだがいさまネット活動」を推進するとともに、「地域支え合いプラン」のモデル地域として藤島地域で「みんなの藤島いいどごプラン」を策定しました。また、鶴岡地域の学区・地区社協では、実施事業や推進体制の現状把握を行い、将来学区・地区社協が担うべき役割や体制等について考える機会をつくりました。

生活支援事業　個別生活課題に関わる相談支援事業の充実

たすけあい資金と生活福祉資金の適正な貸付けと償還指導を行いました。また、成年後見制度の普及啓発に努めるとともに、新たに事業を開始した法人後見は受任件数の増加とともに難しいケースの受任が多くなっています。

高齢者福祉事業　介護保険事業の充実

26 年度に新たに開設した「はちもり」については、安定した経営に努めるとともに、円滑な運営を行うことができました。また、サービス向上の観点から、苦情と事故の判断基準の改訂に取り組みました。これにより、サービスの改善につなげることができました。

障がい者福祉事業　障害福祉事業の充実

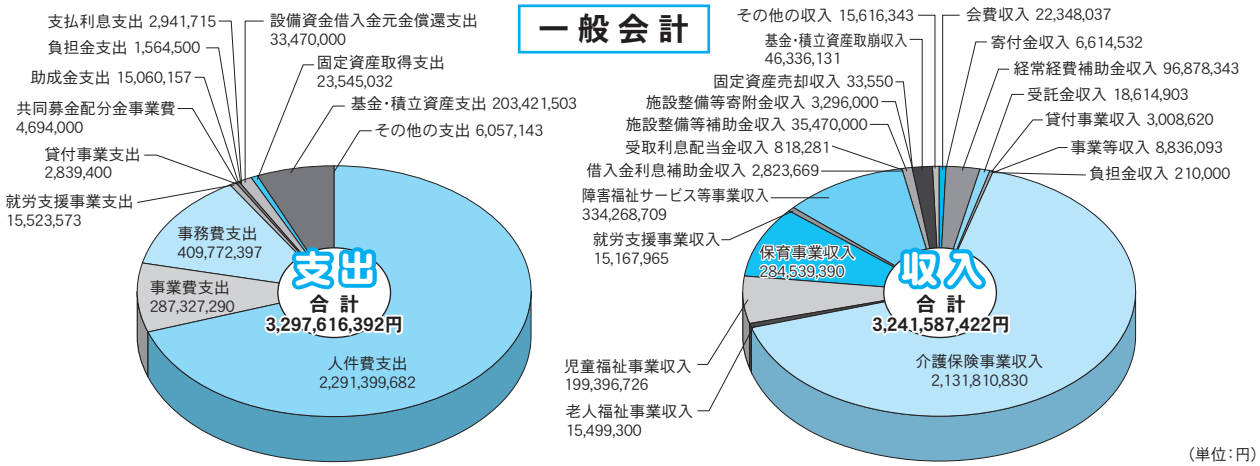
「短期入所センターはちもり」の開設にともない、在宅で生活している障がい者からも利用いただき、利用者・家族の支援につながりました。また、利用者の創作活動や作業活動がしやすいよう施設環境の整備を行いました。

児童福祉事業　暘光児童館の新規運営

26年度から運営（市指定管理）を開始した「鶴岡市暘光児童館」並びに同館で実施する「第四学区学童保育所」については、計画どおり事業推進を行うことができました。

決算報告

一般会計



（単位：円）

トピックス

ふくしの相談が ワンストップサービスに！

羽黒地域

～ひとつの窓口でお聞きします～

羽黒地域では、６月１日より地域包括支援センターかみじ荘と鶴岡市社会福祉協議会羽黒福祉センターが羽黒庁舎１階に事務所を移し、福祉の相談ごとに対してひとつの窓口で対応することができる「ワンストップサービス」を開始しました。

行政サービスの手続きや健康のこと、高齢者に関わる相談や生活上の心配ごと等、今までは３つの窓口でお受けしていた相談ごとを、羽黒庁舎１ヶ所でお聞きすることができるようになります。

羽黒福祉センターでは、心配なことや気になることをいつでも気軽に話せる雰囲気づくりを心がけています。地域の身近な相談窓口として、また、専門職が連携して素早く必要な場所に駆けつけることができる保健福祉の拠点として、地域の皆様に「ワンストップになって良がったのぉ」と感じて頂けるように取り組んで行きたいと思います。

これからも、地域に根差した**おだがいさまのまちづくり**を進めるために、ぜひ皆様のお声を聞かせて下さい。

ご寄付ありがとうございました

みなさまのご厚志に心より御礼申し上げます。
（平成27年5月11日から～平成27年7月5日までのご寄付を掲載しています）

★一般社会福祉事業へ

◎鶴岡福祉センターへ

- NPO法人健康づくりサポート東北21 様　50,000円
- 五十嵐新一 様　10,000円
- 鈴木　洋子 様　500,000円
- 丹下せい子 様　500,000円
- 国際ソロプチミスト鶴岡 様　100,000円

◎羽黒福祉センターへ

- 羽黒町カラオケ同好会 様　100,000円

◎温海福祉センターへ

- 伊藤　和雄 様　50,000円
- 佐藤　昭一 様　100,000円
- 田川建設労働組合温海分会 様　11,200円

★東日本大震災の避難者支援事業へ

- 鶴岡室内合奏団 様　100,000円

★老人デイサービスセンターたかだてへ

- 山形県グラウンド・ゴルフ協会 様　股関節訓練台1台

★高齢者福祉センターおおやまへ

- 大山正法寺 様　弁当箱131点

★はちもりへ

- 掲載（匿名）　木製6人用テーブル1台、4～5人掛けベンチ1脚
- 三瀬婦人会 様　タオル 30 枚
- 小波渡婦人会 様　コーヒーセット１式

★温海デイサービスセンター愛寿園へ

- 温海地域婦人会 様　タオル100枚、シーツ等100枚

★鶴岡市ゆうあいプラザかたぐるまへ

- マックスバリュ鶴岡南店 様　生活用品各種61点（洗顔フォーム、洗剤等）

★もみじが丘へ

- 株式会社 萬国屋 様　浴衣170枚
- 温海温泉女性会 様　タオル30枚
- 温海地域婦人会 様　タオル各種130枚
- 齋藤　節子 様　手作り民芸品各種300点

★中央児童館へ

- 佐藤　有里 様　絵本42冊

★鶴岡西部児童館へ

- 田澤　敏夫 様　積み木1式、三輪車1台、ブロック1式
- 佐藤　るみ 様　エレクトーン1台、大型玩具１台
- 石塚　剛 様　玩具各種３点（スタンプ、児童書、お絵描きボード等）

おだがいさま
第59号
平成27年8月1日発行
発行部数　49,300部

編集・発行
社会福祉法人 鶴岡市社会福祉協議会
鶴岡市泉町5番30号（にこ❤ふる２階）
TEL 0235-24-0053　FAX 0235-23-9110
ホームページ http://www.shk01.jp/

鶴岡福祉センター　TEL 24-0053
藤島福祉センター　TEL 64-3100
羽黒福祉センター　TEL 62-4534
櫛引福祉センター　TEL 57-5300
朝日福祉センター　TEL 53-2795
温海福祉センター　TEL 43-2114

この広報誌は、赤い羽根共同募金の配分を受けて発行しています。